

令和3年7月16日

大阪府立環境農林水産総合研究所との研究支援事業 令和3年度支援対象研究決定！

当会と大阪府立環境農林水産総合研究所は、主に大阪府域の農業者、J A、事業者に貢献する技術開発、技術教育等を支援することにより、将来的に地域産業の発展に寄与することを目的に研究支援基本協定を締結しております。

本協定に基づき、当会は「研究支援事業」として大阪府立環境農林水産総合研究所の研究員が行う研究に対し、研究費の支援を行っております。

今般、令和3年度の研究支援事業において、以下の3つの研究に対する支援を決定いたしました。

引き続き、研究への連携強化や研究成果に関する情報発信等に取り組み、大阪都市農業のさらなる発展及び豊かな地域社会の実現を目指してまいります。

＜支援対象研究＞

研究者名 所属・役職	橋田 浩二 食と農の研究部 食品グループ グループリーダー 北田 康祐 食と農の研究部 食品グループ 研究員
研究テーマ	規格外のナスを原料としたGABA食品素材化の可能性調査 (内容) 規格外ナスの機能性を訴求して販路を創出するための可能性調査を行うとともに、規格外ナスを原料としたGABA高含有ペーストの食品素材化と販路開拓を実施し、現状廃棄処理されているナスの有効活用・有価値化を目指します。
支援開始時期	令和2年度

研究者名 所属・役職	山崎 基嘉 食と農の研究部 園芸グループ 主任研究員
研究テーマ	大阪発の新技术：複数台木苗の利用による水ナスの増収効果の検証とトマト・キュウリへの応用 (内容) 大阪府特産野菜の水ナス栽培にダブル台木苗、トリプル台木苗等複数台木苗の方法を用い、「つや無し果」の発生抑制の可能性を検証し、水ナスの高品質化による粗収益向上を目指します。また、トマト、キュウリなどへの応用も目指します。
支援開始時期	令和3年度

研究者名 所属・役職	西岡 輝美 食と農の研究部 防除グループ 主任研究員
研究テーマ	電解水を利用したイチゴの安心栽培技術の構築 (内容) 電解水を利用した病害の発生抑制だけでなく、品質面にも配慮したイチゴの安心栽培技術を構築し、イチゴの安定生産や消費者への豊かで安心な食の提供に貢献することを目指します。
支援開始時期	令和3年度